

2022年度 法科大学院

第2期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

次の事例におけるX, Yの罪責について論じなさい。

(事例)

Xは、Yから、他人の家に忍び込み、家人に暴行を加えて現金を盗む計画を打ち明けられ、これを一緒に行くことを承諾した。

その翌日、Xは、Yと共に、東京都千代田区富士見所在の被害者V宅近くに赴き、その明かりが消えれば、YがV宅に侵入して内部から入口のかぎを開けて侵入口を確保した上で、Xを屋内に招き入れて犯行を継続する旨、相互に確認した。

同日午前2時ころ、明かりが消え直後に、Yは、V宅の窓から地下1階資材置場に侵入したが、住居等につながるドアが施錠されていたため、いったん戸外に出て、住居等に通じた窓の施錠を外し、その窓から侵入し、内側から上記ドアの施錠を外して、Xの侵入口を確保した。

その間、Xは、V宅入り口付近で付近の様子を確認していたが、物音を聞いて人が集まってきた気配を感じ、犯行の発覚をおそれ、屋内にいるYに電話をかけ、「人が集まっている。早くやめて出てきた方がいい。」と言ったところ、「もう少し待って。」などと言われたので、「危ないから待てない。先に帰る。」と一方的に伝えただけで電話を切り、付近に止めてあった自動車に乗り込み、同車を運転して現場付近から立ち去った。

Yは、Xから電話があった直後に、いったんV宅から出てXを探したが、Xが立ち去ったことを知った。そこで、改めてYはV宅に入り直したところ、Vと鉢合わせしたので、Vの顔面を手拳で殴りつけた。Vは転倒して意識を失った。その後Yは、Vの財布を持ち去ったが、V宅から出た後、財布から現金を抜き取り自分の財布に入れた後、Vの財布はコンビニのゴミ箱に捨てた。